



6 番
山川 博己 議員

「住民の参画と協働」を新市まちづくり計画「煌」の基本理念として市町村合併により誕生した下呂市は、来年3月に合併10周年を迎える。しかし、「住民の参画と協働」のまちづくりは一向に進んでいないのが現状である。

1月におこなった議会報告会・意見交換会では、地域間格差に関する指摘や不満の声が多く聞かれた。まちづくり理念の再構築により、将来への閉塞感と合併への失望感を払拭し、新しい市民意識を醸成する必要がある。

①「煌」の基本構想の進捗状況を総括し、今後の政策理念をどう進めるか。

◆経営管理部長

「煌」は、25年度が当初計画の最終年度ですが、震災により合併特例事業が5年延長になるので、本年度に計画の延長作業を実施します。過去にも地域審議会に中間時点で点

検をしていた後期基本計画に反映をしています。住民の参画と協同については、地域自治区を目指すことから重要な位置づけなので、市民・行政のそれぞれの役割について明記出来ると考えています。

②地域別整備方針の進捗状況を総括し、下呂市の一体感づくりをどう進めるか。

◆経営管理部長

地域別整備方針は、合併以前からのその地域の特質を生かした地域づくりに関連するところが大きく、地域との協働が大きな鍵になると思います。現在、市民憲章の制定に向けて準備を進めています。まさに市の一体感を醸成しようというもので、市民憲章の制定も大きな意義があると思います。

③市職員と市民との信頼関係再構築と一体感づくりを進めるか。

◆市長

職員と市民との距離や庁舎内での連携不足もあると思う。職員である前に地域の住民である事を自覚してもらいたい。地域げんき未来塾に職員も参加して市民と一緒に議論してまず。職員がノウハウを活かして市民と一緒にまちづくりを進めることで一体感を作っていく。



8 番
伊藤 厳悟 議員

クリーンセンター計画の現状と今後の取り組みについて

◆市長

予定地が決まってから環境アセスメントに1年かかり、その後建設にも時間がかかるため、全て合併特例債で実施するには、今年が用地選定の限度です。市民の理解を得ながら進めます。

旧下呂館跡購入後の活用計画は

◆経営管理部長

この跡地は、将来の市の産業振興に向けて大切な場所と位置づけています。下呂温泉病院跡地の利用と合わせて市民合意が得られる総合的な計画づくりを進めます。

金山病院跡地の利用計画について

◆金山振興事務所長

市民から意見を聞く場の設置や利活用の要望が出ています。検討委員会を設置して住民の意見を伺っていきます。

県立下呂温泉病院産婦人科の診療体制について市としての取り組みは医師の招へいの予算だけでなく、

妊産婦が安心してケアを受けられる支援が必要である。今後、中長期的な視野での取り組みが重要

◆健康医療部長

市民の安心安全のために産婦人科の存続は重要課題です。下呂病医院長と緊密な連携を図りながら、市医師会の助言も受け、関係機関への働きかけを進めます。

林業をはじめとした一次産業の振興に対する考え方は

県で成長戦略の一環として捉えているが市の一次産業振興の施策は

◆農林部長

一次産業と二次及び三次産業との連携を拡大する支援を行い、農林水産物の付加価値を高めて、所得の向上や雇用創出につなげ、地域活性化を図りたい。

過疎対策について

県内の市では2番目の高齢化率で、人口減少にあらゆる対策が必要で特に、若者の定住や雇用対策等が重要であるが

◆経営管理部長

過疎対策の課題は、年少人口を増やし生産年齢人口を確保することです。大きな課題であるし、特効薬はありませんが、出来る限り、若年人口の流出抑制と人口増加の後押しとなる施策を推進していきます。

市民に優しい元気なまちづくりを

7 番
中島 博隆 議員

各地域にある従来の街路灯から、LED灯に交換する商店街も出てきたが、将来的にみてエコ対策として、交換したい団体、商店街も出てくると思うが、市として助成する考えはあるか伺う。

◆観光商工部長

LED化を行うと、消費電力の削減や、長寿命化、排出CO₂の削減などメリットがあると聞いています。ただ照度の問題もあるし、照明器具そのものを変わると多額の費用も必要になります。長い目で見れば経費の削減に繋がりますが、市が費用の負担を支援することは財政的にも困難です。また国の補助事業など利用可能なメニューもあり、活用を勧めていきます。

室内で5人で行うフットサルの競技人口が、全国的にも又下呂市においても増加している。体育館におけるコートとしてはまだまだ不足している。増設はできないか伺う。

◆教育部長

市内で15団体が社会体育施設等を利用してフットサルを行っています。コートの増設について、現在のところ施設を新設することは考えていません。既存の社会体育施設や学校開放施設を有効活用してもらえよう。ゴールの整備、コートのマーキングなど必要な策を検討します。

金山病院の跡地について、これからの予定と問題点は

◆金山振興事務所長

今後どのような方向で活用を進めていくか協議する場として、市立金山病院跡地利用権等委員会を16名で構成し、若い人の意見も取り入れながら、方向性を決めていきます。また、具体的な活用方法が決まるまでは、跡地の管理を振興事務所で行います。



金山病院跡地

各事業の見直し、各部署の重点方針を伺う

14 番
中野 憲太郎 議員

高齢者生きがい住宅リフォーム
制度の事業効果は

◆福祉部長

高齢者のみで生活する世帯の日常生活の利便性や生活の質の向上を図り、身体的・精神的支援に繋がったものと思います。

◆橋梁長寿化計画及び
住宅リフォーム助成の見通しは

◆建設部長

長寿命化計画は23年度に策定し今年度から維持修繕を行ってまします。また緊急輸送路に架かる耐震化対策が必要な橋の耐震化も進めます。住宅リフォームは25年度5200万円の予算を計上しています。

◆市内小中学生のいじめ等の
問題の実態と25年度の取り組みは

◆教育長

いじめの認知件数は24年度これまでに23件あります。いじめ問題には組織的に対応し早期発見・対応はもとより未然防止に向けて取り組みます。

税の公平性、滞納問題への
取り組みは

◆市民部長

滞納が発生したら早期に滞納整理に着手し、滞納額を膨らませないようにします。税務課職員一体となり収納率向上に努めます。災害時の情報伝達方法、

防火水槽の整備計画について

◆総務部長

災害時の情報伝達は防災行政無線が主となりますが、緊急な場合は市民メールや車面による広報も行つ計画です。

◆消防長

消防水利の設置状況が悪い地区から計画に基づき整備しています。

農林部事業の有利な補助事業の積極的な活用

◆農林部長

出来るだけ国県補助率が高い事業を実施することで地元や市の負担も軽減します。高い補助率で広い地域の水路や農道等を整備出来る「県営中山間地域総合整備事業」を主軸事業と位置づけています。

平成26年3月1日市政施行

10周年を迎える取り組みは

◆市長

本年6月30日に「NHKのど自慢」の開催が決定しました。市民が一体感と希望を持てるよう市民憲章の制定も行います。